

シンポジウム

# 復活 made in Japan 『割り箸からの挑戦』

～迫り来る「割り箸消滅の危機」を前に、今一度「割り箸の存在意義」を考える～



田中淳夫氏

TANAKA., Atsuo

1959年(昭和34年)大阪府生まれ。奈良県在住。静岡大学農学部林学科卒業後、出版社、新聞社等勤務を経て、現在フリーのジャーナリスト。主に森林・林業や田舎暮らしをテーマにした執筆活動を行う。『森を守れ!が森を殺す!』(新潮OH!文庫)、『里山再生』『だれが日本の「森」を殺すのか』(洋泉社)、『日本の森はなぜ危機なのか』『田舎で起業!』『田舎で暮らす!』(平凡社新書)などがある。

## 第1部 講演

- 基調講演 「割り箸問題の背景」  
大島 裕司 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 研究員
- 特別講演1 「割り箸はもったいない?」  
田中 淳夫氏 森林ジャーナリスト
- 特別講演2 「森林ボランティアの現状と期待」  
大槻 幸一郎氏 技術士(林業部門)・前千葉県副知事・特定非営利活動法人空とぶ森 理事長

## 第2部 パネルディスカッション

「割り箸の存在意義、マイ箸運動の意義等、割り箸を取り巻く歴史、情勢」  
「割り箸の国産化の復活とそこからもたらされる可能性や実現に向けてのモデル・課題等」

### 《 パネリスト 》

- 江尻 京子氏 ごみ問題ジャーナリスト・多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター長
- 大槻 幸一郎氏 技術士(林業部門)・前千葉県副知事・特定非営利活動法人空とぶ森 理事長
- 佐藤 敬一氏 東京農工大学農学部 准教授・特定非営利活動法人JUON NETWORK 割り箸担当理事
- 田中 淳夫氏 森林ジャーナリスト
- 吉田 賢一(コーディネーター)  
株式会社日本総合研究所 総合研究部門 環境価値創成クラスター長/主任研究員



大槻幸一郎氏

OHTSUKI., Koichiro

1948年(昭和23年)新潟県生まれ。長野県在住。宇都宮大学農学部林学科卒業後、農林水産省林野庁に勤務、森林環境の保全充実に尽力する。平成13年4月からは千葉県副知事に就任。現在、アジア航測(株) 技術顧問の他、NPO法人「空とぶ森」理事長、(財)C.W ニコル・アファンの森財団 理事、NPO法人「食育フォーラム軽井沢」理事などの市民活動に係わりと共に、長野県観光審議会(会長代理)や長野県森林づくりの費用負担を考える懇話会(委員長代理)で県行政にも参加している。

「割り箸消滅の危機」が迫る中、  
割り箸の存在意義と  
そこから見えてくる森林問題、  
あるいは地域における  
環境産業について  
一緒に考えてみませんか?

開催日 2007年11月26日(月)

開催時間 12時30分 受付開始  
13時 開演

開催場所 JJK会館 多目的ホールA・B  
東京都中央区築地 4-1-14  
全国情報サービス産業厚生年金基金JJK会館  
◎ 東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線  
「東銀座」6番出口より徒歩3分  
◎ 都営地下鉄大江戸線  
「築地市場」A3出口より徒歩5分



江尻京子氏 EJIRI., Kyoko



佐藤敬一氏 SATO., Keiichi

## お問い合わせ

財団法人日本環境財団 〒107-0061 東京都港区北青山 3-5-30 入来ビル 6階  
TEL 03-5413-4730 FAX 03-5413-4727 e-mail info-jef@jef.jp  
URL <http://www.jef.jp>